

“琉僑への挑戦”

第3回 WUB世界大会

▷1◁

WUB(ワールドワイド・ウチナンチュ・ビジネス・アソシエーション)の第3回世界大会が、米田口サンゼルス市のホテルをメイン会場に今月九日から十三日までの日程で開催された。WUBは世界各地に点在しているウチナンチュのビジネスマンと連携し、国際的ビジネスネットワークの構築と会員相互の研鑽(さん)や親善を目的に一九九七年に設立された団体。大会では稲嶺憲一知事の名譽会長就任やWUB投資会社の設立などが発表されたほか、新たに各委員会を組織するなど具体的なビジネス展開に向けて進展がみられた。WUB組織と世界大会の模様を紹介する。

シニアとして活躍しているとき、アジア各国で華僑ネットワークの強さを目的の当たりとしたこと

WUBの前身となる組織は九三年にハワイで結

田里・友起氏は一九六〇年にペルーの異人移住九十周年記念式典に参加し、アルゼンチンやボリビアなど南米のウチナンチュに会い、皆、ハワイのウチナンチュとそ

世界大会にはWUBのハワイ、北米、沖繩、東京、ブラジル、アルゼンチン、ペルー、ポリビア、香港の九支部のうち、香港を除く八支部から計七十人余が参加。大会開催にあたり、稲嶺知事をはじめベンジャミン・カエタノ、ダニエル井上の両米国議員、ロサンゼルス市のリチャード・ライオダン市長、谷内正太郎在ロサンゼルス日本総領事から祝いのメッセ

仲宗根会長

試行錯誤で発展を

「ウチナンチュの心」強調

が、ウチナンチュのネットワークを生かした琉僑構想の背景になっ

成されたHUB(ハワイ・ウチナンチュ・ビジネスネットワーク)。ハワイから沖繩、ビジネス視

た」と、HUBが南米も巻き込んだ世界規模のネットワークを旨とするWUBに発展した経緯を説明した。

WUBブラジルの与那嶺真次会長は「ブラジルのウチナンチュのユイマルの心が生きている。その心があったから会社経営で成功している者も多い。ユイマルの心の世界のウチナンチュと共有したい」と語る。

WUBの本部はハワイ物理を専攻し、半導体又在のWUBインターナショナル。会長はロバート仲宗根氏。各国支部の会長が副会長を務める。仲宗根氏は父親が石川市出身のウチナン二世。マサチューセッツ工科大学で

仲宗根会長は大会初日、「非営利団体のWUBと利益を追求するWUB投資会社は車の両輪

と沖繩で物産展を開いたり、ハワイで海盛とオリオンビル展や沖繩料理の紹介などを実施。WUB

九七年に設立されたWUB沖繩会長の眞原守将は「先賢に倣って、心世界を共有したい」と語る。

WUBの組織

本部・WUBインターナショナル
(会長・ロバート仲宗根)

各国支部	会長	会員
沖繩	呉屋 守将	45人
北米	ノーラン・比嘉	50人
ハワイ	ロイ・伊礼	13人
東京	重田 辰弥	40人
アルゼンチン	オラシオ・玉那覇	20人
ポリビア	島袋 金丈	18人
ペルー	オスカー・徳村・仲本	30人
ブラジル	与那嶺真次	30人
香港	エバン・シヤオ・仲本	9人

(政経部・眞保 靖)